

働く者・労働者の代表を国会へ！ 私の最も訴えたいこと

私が働く者・労働者の代表として立候補した理由は、現在の国会には、働く者の立場や利益を守る政党や議員が全く存在しないからです。働く者の声を国会に届けなければならぬ任務を持つ野党は、その責任を全く果たしていません。共産党を始め野党は、安倍政権となれ合い、安倍政権に追随しています。それを象徴しているのが、天皇代替わりの空騒ぎです。

今や戦前の天皇制軍国主義は現実のものとなりつつあるのではないのでしょうか。今こそ働く者・労働者の声を国会に反映させ、この歴史の逆コースを阻止し、働く者の闘いを発展させていくことが必要です。私、あくつ孝行は、以下のような基本的な主張を掲げ、腐敗した安倍政権を終わらせるために闘う決意です。

略歴 1950年横須賀生まれ。中央大学卒業後、県立高校の社会科教師。2017年衆議院選挙で神奈川11区から立候補。

労働者党 検索

非正規・女性労働者への差別労働一掃、長時間労働などの搾取労働の廃絶を！

第一に、いつまでたってもなくならない、長時間労働・ブラック労働等の搾取労働の即時廃止です。さらには、パートや派遣・有期雇用等、2千万にも急増した非正規労働者や、低賃金と身分的不公平に苦しむ女性労働者にはびこる差別労働の一掃です。

安倍政権による国家権力の私物化一掃を！

第二は、モリ・カケ事件に象徴される、安倍政権による国家権力の私物化を一掃することです。特に森友学園事件では、安倍首相の妻が学園の名譽園長を務めていたことから国有地の売却を8億円も値引きしたことは明らかで、安倍首相も「私や妻が関わっていたら首相も議員も辞める」と大見えを切ったのですから、直ちに議員を辞職すべきです。モリ・カケ事件後も公文書の偽造捏造や

これらの要求は何かとんでもないものように思えるかもしれませんが、安倍首相自身が労働者に向かつて公約してきたことです。実現できないなら、彼は公約違反として直ちに辞任すべきです。

年金・社会保障制度破綻の責任追及！介護問題解決に向けての労働者党の提言

第三は、安倍政権に年金制度と社会保障制度の破綻の責任を取らせることです。6月3日の金融庁審議会の報告は驚くべきものでした。報告は、年金暮らしの高齢者夫婦の生活は毎月5万5千円不足し、30年後には2000万円不足するから、今から資産運用によって不足分を補え、というのです。これは政府が「年金百年安心」と国民を欺いてきたことを自ら認めたことと同じです。安倍政権はまた、「全世代型社会保障」を参院選の目玉政策として売り出していますが、これこそ典型的なバラマキ政策です。安倍首相は、現在の社会保障は高齢者を優遇しすぎているから、全世代に行き渡るようにする、乳幼児保育教育の無償化は、その第一歩で社会保障の大転換だなどと自画自賛していますがこんな間違った考えはありません。なぜなら社会保障とは、働けなくなった人々などを社会が助ける制度であり、高齢者に偏るのは当然だからです。安倍首相は「全世代型」などと言っていますが、現役世代が必要としていないことは生活できる賃金であり、子どもを安心して預けられる保育園などの施設です。彼らは社会保障を担う世代ではあっても働けなくなった時を除いて、社会保障の対象ではないのです。さらに一刻も猶予できない最大の課題は、高齢者の介護問題です。数十万人の介護労働者が、数百万、数千万の要介護者を抱えている現状は、すでに介護施設の増設や起死回生している現状は、すでに介護施設の増設や起死回生活動が行われています。住民が例えば、生涯の1年間、あるいは1週間のうちの1日を介護活動に使う、これこそ未来の労働者社会の先取りでもあります。

安倍首相の改憲は党利党略・私利私略、改憲するなら天皇制条項の削除から！

第四は、安倍首相の改憲は、党利党略、私利私略であるということです。安倍首相の会見は、9条の平和条項(1、2項)はそのままにして、新たに9条の二として「自衛隊は合憲である」を、付け加えるというふざけたものです。しかしこのような場当たりの改憲案は、9条の二の「国は戦力をもたない」「国の交戦権は認めない」という

野党共闘は野合、反安倍勢力は「別個に進んで一緒に撃て！」

最後に皆さんに訴えたいことは、野党共闘では安倍政権に勝てないということ。そして反安倍勢力は「別個に進んで一緒に撃て！」ということです。立憲民主党や共産党など野党勢力は、野党共闘でなければ安倍に勝てない、と言っています。本当でしょうか。そもそも国民民主党や立憲民主党の旧民進党(民主党)は、第二保守党の小池新党(希望の党)と合流することを望んだ保守的な人物ばかりです。共産党の主張と政策とはまさに水と油であり、そんな連中と共闘を組んで一体何がで

きたらというのでしょうか。つい最近行われた大阪衆議院補選は、共産党が理想的な野党共闘と言った共闘ですが、共産党出身の野党統一候補は、第4位という無残な敗北を喫しました。この事実こそ、誠意も真面目さもない野党共闘の無力さを証明してあまりありません。

私たち労働者党は、立憲民主党や共産党の支持者の票をかすめ取るなどというケチな根性はありません。労働者党は「働く者・労働者の真の代表を国会へ」送り出すために皆さんと共に最後まで闘います。

◆ 比例区は労働者党

とお書きください。

略称「労働者党」